





●設置場所

- ・建物内、建物敷地内(特殊施設を除く)
- ・公園敷地内
- ・公道の車道以外で車両の乗り入れる可能性のある場所(ただし円形水路用は別途ご相談ください。)

●荷重区分

T 荷重	総荷重	載荷板寸法	後輪一輪荷重		衝撃係数
T-20(敷地内T-25適合) 	25,000kgf	200×500mm	70 kN	(7,139kgf)	0.4
T-14(R5) 	20,000kgf	200×500mm	54.92kN	(5,600kgf)	0
T-8 	8,000kgf	200×500mm	31.39kN	(3,200kgf)	0
T-2 	2,000kg	200×160mm	7.85kN	(800kgf)	0
歩道用 	荷重条件	安全荷重			
	等分布	5.0kN/m ² (約510kgf/m ²)			

※T-14荷重は、R5荷重(後輪一輪荷重:50kN)にも対応しています。

T-20荷重について

車両通行時の衝撃を考慮した製品です。出入口等、車両が繰り返し通行する場所にも使用可能です。ただし公道でのご使用には適しません。

車両通行時の衝撃は、道路橋示方書を参考に衝撃係数0.4に定め、輪荷重5トンに乘算しています

荷重(後輪一輪荷重): $50\text{kN} \times 1.4 = 70\text{kN}$

タイヤ接地面積: 200×500mm

※交通量が多い場所や、フォークリフトなどの特殊車両が通行する場所には適しません。

T-14荷重について

基準・規格による車両総重量: 14トン(14000kgf)

※社内規格(旧道路橋示方書)による。

荷重(後輪一輪荷重): $14000\text{kgf} \times 0.4 = 5600\text{kgf} \approx 54.92\text{kN}$

※車両総重量が14トンを超える車両においても、後輪一輪荷重50kNまでの緊急車両等の乗り入れは可能です。

タイヤ接地面積: 200×500mm

※交通量が多い場所や、フォークリフトなどの特殊車両が通行する場所には適しません。

R5荷重(輪荷重5トン)について

基準・規格による車両総重量: 25トン(25000kgf)

荷重(後輪一輪荷重): 50kN(5103kgf)

※車両制限令 第三条 車両の幅等の最高限度による

タイヤ接地面積: 200×500mm

※交通量が多い場所や、フォークリフトなどの特殊車両が通行する場所には適しません。

T-2荷重について

基準・規格による車両総重量: 2トン(2000kgf)

※社内規格による。

荷重(後輪一輪荷重): $W=2000\text{kgf} \times 0.4 = 800\text{kgf} = 7.85\text{kN}$

タイヤ接地面積: 200×160mm

※交通量が多い場所や、フォークリフトなどの特殊車両が通行する場所には適しません。

歩道用について

基準・規格: 歩道等の群集荷重

※道路橋示方書による

荷重: 5.0kN/m² 荷重条件: 等分布荷重